医薬品リスク管理計画
（RMP）

本資材はRMPの一環として
位置付けられた資材です

レキサルティを服用されるうつ病患者さんとご家族の方へ

レキサルティ®
Q&A

本冊子の内容を、動画でもご紹介しています。

うつ病における増強療法やレキサルティの飲み方、治療上の注意点についての動画はこちらから

監修：順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 メンタルクリニック 科長・教授　馬場 元 先生

目 次

レキサルティによる増強療法をはじめるにあたって …… 3

Q　レキサルティはどのようなお薬ですか？ …… 4

Q　レキサルティの飲み方は？ …… 5

Q　レキサルティを飲みはじめてどれくらいで効果が出ますか？ … 6

Q　症状が改善したら、レキサルティを中止してもいいですか？ … 7

Q　レキサルティを服用する時の注意点は？ …… 8

Q　うつ病の治療を受けるうえで大切なことは？ …… 10

レキサルティによる
増強療法をはじめるにあたって

うつ病の治療では、抗うつ薬を使用してもやる気がおきない、夜眠れない、不安になる、気持ちが焦るなどの症状が残ってしまうことがあります。残っている症状は、以下のようなさまざまな問題の一因となります。

● 仕事や日常生活に支障をきたしてしまう。

仕事を休みがちだ…
仕事に集中できない…

家事や育児が
十分にできない…

● うつ病の再発の一因となる可能性がある。

気持ちが晴れない…
なんとなくゆううつ…

やる気がおきない…

不安な気持ちが
続いている…

レキサルティは、これらの残っている症状を軽減するために、抗うつ薬と一緒に用いられます(増強療法)。この冊子では、レキサルティによる増強療法をはじめる患者さんに、増強療法の必要性や、レキサルティのはたらき、服用上の注意点などについて紹介しています。残っている症状に向き合い、主治医とよくコミュニケーションをとりながら治療を進めていくことが、新しい生活を送るために大切です。

Q レキサルティは どのようなお薬ですか？

A レキサルティは、適切な抗うつ薬による治療を複数回行っても十分な効果が得られないうつ病・うつ状態の患者さんに対して使用されます。抗うつ薬と一緒に服用することによって、抗うつ薬による治療効果を高め（増強療法）、うつ病のさまざまな症状を改善するお薬です。

レキサルティの効果（イメージ）

うつ病の薬物治療における増強療法

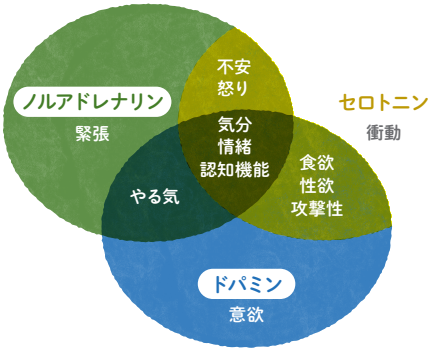
抗うつ薬単剤治療

SSRIやSNRIなどの
抗うつ薬

増強療法

SSRIやSNRIなどの
抗うつ薬 ＋ レキサルティ

うつ病のさまざまな症状は、頭の中で気分や意欲のバランスをとっている「ノルアドレナリン」「セロトニン」「ドパミン」と呼ばれる物質が関与しているのではないかと考えられています[1)]。
レキサルティは、これら3つの物質の神経伝達のバランスを整えることで、うつ症状を改善することができると考えられています。



1）Healy D, et al. J Psychopharmacol. 1997：11（Number 4 Supplement）：S25-31

Q レキサルティの飲み方は？

A レキサルティOD錠を1日1回、抗うつ薬と一緒に服用します。

- レキサルティはOD錠（口腔内崩壊錠）です。

- 抗うつ薬と一緒に服用します。
- レキサルティは、1日1回1mgを服用します。

※ レキサルティは「水なし」でも「水あり」でも服用可能です。

通常は1日1回1mgで開始します。
患者さんの状態によっては、レキサルティを飲みはじめて6週間くらい経ってから、1日2mgに増量することもあります。

Q レキサルティを飲みはじめてどれくらいで効果が出ますか？

A レキサルティは人によって効き方に差があり、また症状によっても効果が出る時期が変わります。

レキサルティを飲みはじめて、数日で効果があらわれる人もいますが、効果があらわれるのに数週間かかる患者さんもいます。

お薬を規則正しく服用するための工夫

毎日、お薬を飲み続けることは大変なことです。
右 に、飲み忘れないための工夫をご紹介します。
ご自身の生活の中で、できそうなことからはじめてみてはいかがでしょうか。

Q 症状が改善したら、レキサルティを中止してもいいですか？

A レキサルティをやめるタイミングについては、主治医や薬剤師へご相談ください。

症状が楽になると、「病気が治った」と思い、お薬の服用をやめようと考える方が少なくありません。
しかし、ご自身の判断でお薬をやめてしまったりすると、症状が再発してしまうことがあります。

お薬について不安や疑問がある時や、副作用と思われる症状がみられた時には、我慢せずに主治医や薬剤師に相談しましょう。

食事や歯磨きなどの
日常の生活習慣と
お薬の服用を結びつける

目につきやすい場所に
お薬を置く

お薬を飲んだら
カレンダーにチェックする

Q レキサルティを服用する時の注意点は？

A 以下にレキサルティを服用するうえでの注意点、起こるかもしれない症状や副作用についてまとめました。

このような症状があらわれた場合には、主治医または薬剤師に相談してください。

- **眠気や、注意力・集中力・反射能力などの低下**
  自動車の運転など、危険を伴う機械の操作は避けてください。
- **じっとしていることができない、立ったり座ったりを繰り返す（アカシジア）などの症状があらわれる**
- **体重が増える**
  脂質異常症などほかの病気を合併する可能性があります。
- **血糖値が高くなる**
  体重が急に減ったり、口が渇く、尿の量や回数が増えた、などの症状に注意が必要です。
- **めまい、立ちくらみなどが起こる**
  レキサルティを飲みはじめる時や増量する時などにあらわれることがあります。特にアルコールと一緒に飲むことは避けてください。
- **不安になる、いらいらする、焦るといった症状があらわれる**
  レキサルティとの関連性はあきらかではありませんが、もともとあるうつ症状が悪化したり、他人に対して危害を加えたりするおそれがあります。
- **乳汁が出る、無月経、インポテンツなどの症状があらわれる**
- **衝動制御障害（病的な精神状態による以下のような行動の異常）**
  病的賭博：病的にギャンブルにのめり込む。
  買い物依存：必要がないのに次々と買ってしまう。
  過食：食べたいという衝動を抑えられなくなる。
  病的性欲亢進：病的に性的衝動が抑えられなくなる。

このような副作用があらわれた場合には、すぐに受診してください。

特に気をつけていただきたい副作用

- **他の原因がなく、37.5度以上の高熱が出る、ぼやっとする、からだのこわばり、汗をかくなどの症状が同時に複数みられた場合**［悪性症候群］
- **舌を動かしたり、舌を出し入れしたり、絶えず噛むような口の動き**［遅発性ジスキネジア］
  こんな症状にも注意しましょう：嘔吐、吐き気、ものが飲み込みにくい
- **激しい息苦しさ、発熱、咳、痰、息切れ**［誤嚥性肺炎］
  こんな症状にも注意しましょう：ものが飲み込みにくい、むせる、咳き込む
- **激しい腹痛、吐き気・嘔吐、腹が張る**［麻痺性イレウス］
  こんな症状にも注意しましょう：便が出ない、食欲不振
- **持続する脱力、筋肉の痛み、赤褐色尿**［横紋筋融解症］
  こんな症状にも注意しましょう：手足のこわばりやしびれ
- **口が渇く、水を多く飲む、尿が多く出る（多尿）**［高血糖、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡］
  こんな症状にも注意しましょう：からだがだるい、脱力感、体重が減る、考えがまとまらない、手足のふるえ、深く大きい呼吸、判断力の低下、意識の低下、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、意識がなくなる
- **けいれん**
- **突然の高熱（38度以上）、さむけ、のどの痛み**［無顆粒球症、白血球減少症］
- **突然の激しい息切れ、息苦しさ、胸や手足の痛み、むくみ、意識の低下、発熱**［肺塞栓症、深部静脈血栓症］
- **自殺を企てたり、自殺のことを思いめぐらせている**［自殺企図、自殺念慮］

このような場合には、主治医または薬剤師に相談してください。

- **抗うつ薬以外のお薬を飲む場合**
  レキサルティの作用と副作用が強く出ることがあります。
- **妊婦または妊娠している可能性がある方**
- **授乳中の方**
  授乳を避けてください。
- **以前にお薬を使用してアレルギー症状が出たことがある方**

Q うつ病の治療を受けるうえで大切なことは？

A うつ病の治療では、心身の休養がしっかりとれる環境を整えて、主治医とコミュニケーションをとりながら焦らず治療を続けることが大切です。

うつ病の治療では、治療を継続しながら心身の休養がしっかりとれるように環境を整えることが大切です。また、適切な食生活、適度な運動習慣、禁煙がうつ症状の改善に寄与する可能性が報告されています[1)]。症状を改善させるため、また、改善した症状を再発させないために、無理のない範囲で生活習慣を見直してみましょう。

うつ病の重さの程度や症状によって、どのように環境を整えたらよいかは異なります。
主治医と相談しながら生活習慣を見直しましょう。

1）Berk M, et al. Acta Psychiatr Scand. 2013：127（Suppl. 443）：38-54

また、うつ病に使用されるお薬には、効果があらわれるまで時間がかかるものがあります。ご自身の判断でお薬の量を変えたり中断したりせずに、主治医と相談しながら焦らず服用を続けましょう。

そのためには、主治医とコミュニケーションをとって、自分の症状やこころの状態をきちんと知ってもらうことがとても大切です。気になることは遠慮せずに相談しましょう。

焦らないこと

主治医との
コミュニケーション

こころの健康情報局
“すまいるナビゲーター”のご案内

ウェブサイト“すまいるナビゲーター”は、うつ病の患者さんやご家族に必要な情報や、知っておいていただきたいことなどについてご紹介しています。

こころの健康情報局
すまいるナビゲーター
うつ病

すまいるナビゲーター

https://www.smilenavigator.jp/utsu/

スマートフォンをご利用の方は、二次元コードを読み取ることでウェブサイトにアクセスできます

医療機関名：

電話番号：

Otsuka 大塚製薬株式会社

2025年3月改訂
RX2503019
(11198)MN